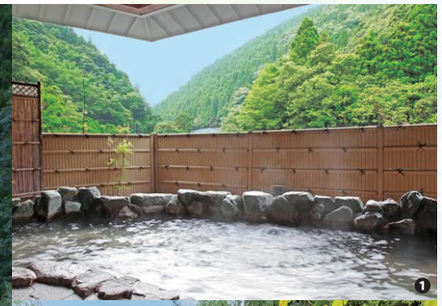
山の温泉・龍神温泉　海の温泉・白浜温泉
神秘と癒しに包まれる和歌山の温泉


❶熊野三所神社から鳥居越しに白良浜を望める。❷崎の湯の源泉である〝行幸源泉〟。背景に見えるのが鉛山湾と白良浜。


水平線まで視界を遮るものがない崎の湯。天然のインフィニティ温泉だ。


日高川沿いに建てられた龍神温泉元湯。他にも複数の温泉施設や宿泊施設が立ち並ぶ。


❶源泉100%の共同浴場元湯。半露天の外湯は岩風呂、内風呂の浴槽に龍神村産の檜を使用している。❷元湯近くにある温泉寺。弘仁年間に弘法大師空海が薬師瑠璃光如来を安置したという伝承が残る古刹。のちに明算という僧によって薬師堂が再建され、温泉寺と名付けられた。


❷

龍神観光協会
住所／和歌山県田辺市龍神村西376
電話／0739-78-2222
https://www.ryujin-kanko.jp

田辺市龍神村の山間、日高川上流の深い山並みに抱かれた龍神温泉は、日本三美人の湯の一つとして知られる秘湯だ。役行者が発見し、後に弘法大師空海が難陀龍王のお告げによって広めたという伝承も残されている。江戸時代には紀州藩初代藩主の徳川頼宣がたいへん気に入り、藩費を投じて保護・整備。保養所も建設し温泉地として発展した。清流に沿って旅館が軒を連ね、夜になると川面に旅館の明かりが映り込み、今も往時の情緒を彷彿させる。

一方、和歌山を代表する海のリゾート地、白浜にあるのは、日本三古湯の一つに数えられる白浜温泉だ。〝日本書紀〟や〝万葉集〟には〝紀温湯〟や〝牟婁温湯〟と記された風雅な温泉である。孝徳天皇の皇子である有間皇子が逗留し、翌年、斉明天皇が行幸し、後白河法皇などは熊野詣の際に沐浴したことでも知られる。なかでも崎の湯は万葉の時代から続く、今も現存する唯一の湯壺で、当時の上流階級の人々も旅の疲れを癒したことだろう。自然の浸食によって生まれた露天風呂に身を沈め、目の前に広がる太平洋を眺めながら、絶え間ない波音と豪快な波しぶきを楽しむ。大自然と一体となるような開放感に、心と身体は癒されていく。

効能も趣も異なる、和歌山の山あいの温泉と海の温泉。湯に身をゆだね空を眺め葉擦れの音に風を感じ、周囲の景色との一体感を覚える。和歌山の温泉には、それぞれに異なった癒しの物語が刻まれている。

崎の湯
住所／和歌山県西牟婁郡白浜町1668
電話／0739-42-3016

南紀白浜観光協会
住所／和歌山県西牟婁郡白浜町1384-57
電話／0739-43-3201
https://www.nankishirahama.jp


円月島近くにある御船足湯。白浜には牟婁の湯などの内風呂から足湯、ホテルの日帰り温泉など、多くの温泉施設がある。